



Le Vert  
ル・ベール 山の会

【甲子園から始まったご縁】

ちょうど 11 年ほど前、母校の高等部が 70 年ぶりに甲子園出場を決めた。

一生に一度の快挙と思い応援に参加した。その後懇親会に顔をだすと、私の横に現会長の N さんがいた。ちょうどこの時期、私は毎日がサンデーになった時で、彼との話の中で今でも記憶しているのが、『今までとは違う新しい人の中に入って、少し緊張感をもった環境を持つことが大事だ』というこの言葉であった。(N さん、覚えているかな。私の心に響いたこの言葉を)これがルベール山の会の勧誘であったわけですが、せっかく甲子園がとりもつ同級生のお誘いであったので、2 週間後に計画された能勢妙見山登山に参加することにした。駅前で軽い準備体操をし、初谷溪谷沿いのコースをとる。初谷川と森林のなかで日陰が多く、心配していた暑さもあまり感じられない気持ちのいい登りであった。妙見宮に正午過ぎ到着。朝セブンイレブンで買ったおにぎりを食べている時、前の会社のおやし会のメンバーから調子はどうかとメールがきたので順調だと返信。帰りは上杉尾根コースを下山。この分だと楽勝だなと思ったところでした。ところがである。行けば行くほど人が通らないようなところに突き当たり途中まで戻る。標識があった道へ変えたもののこれも途中から道なき道にまた遭遇。一息休憩。時刻も夏とはいえ午後 5 時近くになってきた。

もう一度頂上まで戻ろうとしたところ上杉尾根コースに出る。ようやく下山が始まり一安心。雪のシーズンではないけれども、昔観た映画『八甲田山』を思い出すへとへとになる初めての体験であった。

『山とは、こんなことがおこるのか』と思いながら、入会することになったのは、更に2年後であった。入会后、六甲山など近場の山々を初め信州の百名山のいくつかを登ることができた。いつまでたってもいい思い出である。

いつだったか私のグループリーダーであったTさんから、会のIさんがオカリナを教えている事を聞き、早速ご指導を受けるようになった。

ちよくちよく練習をしているつもりだが、先生のような音はどうしてもでない。

なんでだろうかと思いつつも、あきらめもせずにもうはや5年がたった。この間香櫨園の老人会の演奏会に何度か出させてもらった。喜んでもらっているみたいだ。私も地元の老人会で毎年音楽会のイベントを企画しているが、自分自身がこのような場で出演するのも、また違う緊張感をもったいい体験だと思っている。

最近新たに低音のバス管を練習している。なかなかやわらかい音がでる。

これで私の好きな『いのちの歌』を吹くと、心が暖まってくるような感じがする。

今や楽しみのひとつになったオカリナ、これも甲子園から始まったルベールのご縁だろう。永く続けたいものである。